

## 審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第1回松阪市の住民自治のあり方検討会
2. 開 催 日 時	平成29年8月30日(水) 午後1時30分~午後3時
3. 開 催 場 所	松阪市役所 5階 特別会議室
4. 出席者氏名	○出席者： (松阪市住民協議会活動推進委員会) 中山一男、水谷勝美、山本均、脇田博之、垣本長生 (松阪市自治会連合会) 小山利郎、山本勝之、水谷勝美、田上勝典、小林平八郎 (松阪市公民館連絡協議会) 中村悦郎、西口秀美、古市 仁 (松阪市自治会連合会事務局) 西岡史穂 (事務局) 山路副市長、加藤企画振興部長、奥野地域振興担当理事、高木地域づくり連携課長、村林地域連携担当監、深田教育委員会図書館改革推進担当参事兼生涯学習課長事務取扱  ○欠席者：(松阪市公民館連絡協議会) 常保尚郎、小川祐治
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	4名 (内報道2名)
7. 担 当	松阪市 企画振興部地域づくり連携課 TFL 0598-53-4319 FAX 0598-22-1377 e-mail commu.div@city.matsusaka.mie.jp

### ○事項

1. あいさつ
2. これまでの経過
  - ・住民協議会の必要性
  - ・これまでの意見
3. 市が示す地域自治のあり方に向けての検討課題
4. 今後の進め方
5. その他

◎議事録は別紙

第1回 松阪市の住民自治のあり方検討会 会議結果報告

平成29年8月30日(水)

13:30~15:00

於:5階特別会議室

- 出席者：松阪市住民協議会活動推進委員会 中山 一男  
水谷 勝美  
山本 均  
脇田 博之  
垣本 長生  
松阪市自治会連合会 小山 利郎  
山本 勝之  
水谷 勝美  
田上 勝典  
小林平八郎  
松阪市公民館連絡協議会 中村 悦郎  
西口 秀美  
古市 仁  
松阪市自治会連合会事務局 西岡 史穂  
松阪市 副市長 山路 茂  
企画振興部長 加藤 正宏  
企画振興部地域連携担当理事 奥野 義彦  
地域づくり連携課 高木 達彦  
村林由美子

- 欠席者： 公民館連絡協議会 常保 尚郎  
小川 祐治

- 傍聴者： 4名（内報道2名）

【議事録(要旨)】

(13時30分開始)

事項書1. あいさつ

《山路副市長 あいさつ》

事項書2. これまでの経過

- ・住民協議会の必要性 《事務局 資料2. 3の説明》
- ・これまでの意見

- 自治連合会:今聞かせていただいた8ページ住民協議会設立の流れの説明で、住民協議会が立ち上がったと解釈していいか。
- 事務局:そうです。この資料については住民協議会を作っていたときの説明に使っていた資料です。これを基に地域で議論し、住民協議会が立ち上がってきたと理解している。

### 事項書3. 市が示す地域自治のあり方に向けての検討課題

### 事項書4. 今後の進め方 《事務局 資料4. 5の説明》

- 自治連合会:この提案説明は、これまで4回の話し合いや行政から提案してほしいと要望してきた結果と解釈してよろしいか。提案について一部は納得するが連合自治会の活動の中での経費についてもこの中に入ってくると思うが、どのように考えているか。
- 事務局:あくまでたたき台としてお示しさせていただいたもの。今後、皆様にご意見をいただきながら煮詰めていきたいと考えている。たとえばお金の流れを整理していくとそれを受けての組織がどうなるのかを整理しなければいけないと思っている。その組織のあり方についての議論は次のステップになるかと考えている。公民館や市民センターのあり方などのご意見も賜りたいと考えている。
- 自治連合会:わかりました。連合自治会も1ページにも示されている補助金がある。経費も増大になってくると思うが、補助金の中には必要経費が入っていないが、これから考えていただけるという解釈でよろしいか。
- 事務局:そうです。【資料5】にもありますように委託等地域にお願いしている業務とある。一番地域に密着し顔と顔が見える運営をお願いしないと出来ない業務。そのような事も整理した上で事業費の流れを考えていきたいと思う。
- 自治連合会:わかりました。細かいところは議論し理解しながら提案について考えていけばいいという事か。
- 公民館:防犯灯が住民協議会に移った時、防犯灯に関しての問い合わせで行政の指示に困った事がある。色々な事を住民に任せるなら、そういう細かな部分の体制をきちんと整えていたかないと安心して引き受ける事は出来ないのではないかと心配している。
- 事務局:交付金の財源を捻出する為に補助金関係をできるだけ交付金に上乘せしていく形になっている。今後お願いしたい事業や今住民協議会にお願いしている部分も住民協議会を通さなくてもよいかもしれない。行政と住民との役割分担を見直していく必要があると思っている。
- 自治連合会:地域の業務を見直した先は、ほとんど住民協議会で役割をお願いしたいという事か。ほとんど自治会が担っていた事を見直すという事は住民協議会へ業務をもっていきたいという方向性を見直しをするということか。
- 事務局:そういう事ではない。一つの受け皿に委ねる事によって、そこで仕事は誰がするかという事を決めていただきたいという考え方。43ある中で全てが同じ組織で動いていくわけではないと思っている。業務を考える必要があるということで予算も含めてステップにてあげさせていただいたのでご理解いただきたい。
- 住民協議会:住民協議会を設立の時に、そういったものをステップで整理する理想の形が住民

協議会ではなかったのか。43住民協議会が地域の活性化に向けていくという事を理解してやってきたのに、これがまた戻ってきた。全く新しい自治会と住民協議会が別の組織を設けるとなるともう少し整理をしてもらわないと誤解される。しっかりと説明し提案をしてもらわないとまた同じ事の議論になり逆戻りする。

- 事務局:住民協議会は古くからあり、下村市長の時に地域がしっかり議論して議論が成熟したところから手上げ方式で設立していこうということで、あくまで主体が地域でしっかり議論した上で住民協議会としてスタートしてもらった。設立のまだのところに対して24年3月までと一定の年月をきったため、中には駆け込みで議論し立ち上げていた経過もある。活動のやり方に温度差があり指摘されている。そこも含めて地域のあり方をもう一度整理、議論しご理解いただきたいと思っている。
- 住民協議会:住民協議会がスムーズにいったところもたくさんある。設立の時に色々な団体が意見を出しあってスタートした。公民館の事業も住民協議会で行い、ある程度自治会へも移行し、そういう中整理して現在に至っている。同じような住民協議会は他にもあると思うがそういったところも過去に調査されているのか。データとして提供してもらおう事でこの議論につながるのではないか、また地域の活動内容にも若干の差があるのではないか。表面的な整理だと、また同じ議論になり、根本的なものが解決されず整理されていないから同じ事の繰り返しになると思う。
- 公民館:環境づくりが伴わないと動いていかない。環境づくりがないままでもスタートしても、きちんと整理していただかないと、どこがどうするのか、またもとに戻ってしまう。
- 事務局:私の考えですが環境づくりというのは住民協議会が出来てくる段階で従来からの連合自治会や公民館、その関係をきちんと整理してこなかったから今に至るんだと思う。それをせずに従来組織の上に住民協議会があり、団体がある中で地域としてどうやっていくのか、自治会や子ども会などが行うことをコーディネートするような場だったと思う。その中で事業をやっているのは誰か。組織がそれぞれあってやってる人が重なってきてどっちの事業なのか、その辺が分からなくて問題になってきているのではないか、ほとんどはうまくやってもらっていると思う。
- 住民協議会:住民協議会というのは連合会と自治会や福祉会、PTA、消防団ほか地区の有志などが寄って連なる。個々ではそういうスタンスで住民協議会に発足から関わり、その考え方で運営が進んできた。住民協議会で出来ない事はたくさんある。自治会で結局はやってもらっている。住民協議会と連合自治会に対する市政の位置づけがおかしいと思う。
- 事務局:高齢者の地域包括ケアとか災害時の避難事業など地域によって違う。またこれを住民協議会または連合自治会へお願いするのか、地域の中で役割分担してほしい。
- 住民協議会:前にも言わせていただいたように地域の実態調査または動向調査できちんと把握していかないと前に進めないと思う。
- 事務局:地域の事を知れば知るほどまとめられないことにもつながるという危険もある。地域で決めてもらう事は地域で決めていただく、それまでのところを整理したいと思っている。
- 住民協議会:行政の担当課が地域の実態を正しく把握し、色んな接触を繰り返しながら改良してもらう事も必要でないかと思う。
- 公民館:住民協議会設立にあたり、充分練って設立された所、駆け込みで住民協議会設立した所もあり状況は違うが、その中で小さい規模の住民協議会より大きい規模だと受け止め側は

複雑化していくので地域の中の環境整備をしなければいけないと思う。また市としても手助けをしていただかないとうまく稼働していかないのではないかと思います。

- 公民館: 住民協議会の自治会長や役員が代わっていく中でも事業が成り立っているが各自治会全部に主旨等が伝わっているかは疑問。そのあたりもう少しきちんとしないと、事業がふえてきたら、浸透しにくいかなと思う。
- 住民協議会: 住民協議会そのものも人口も規模も100倍くらい差があり、地域によって出来る事と出来ない事が当然出てくる。理想形で出来る出来ないは地域にある程度裁量を与えてもらわないと想定出来ないため地域の実態を把握してもらおう努力が必要だと思う。
- 自治連合会: 期限をきられて自治会長さんあたりが規約もひな形をかえて駆け込みで設立した。その時に説明があったのは、地域で出来る範囲の住民協議会活動で他と違ってよいと言われた。今更、枠に入れよと言われても100倍違う組織と同じ事出来ないし、議論もしてないので受け皿がない。そこを住民協議会と連合自治会でどのように育てていくかが今の一番の課題。好き勝手にしていいと言われていたのが急にこれをしろと言われてたり、又当時に公民館も無くすと言われてた話などもあり複雑になってきている感じがする。
- 自治会連合会: 組織図にあてはめるとなかなか組織で動くのは難しいかなと思う。よく考えてもらわないと地域によってムラがあり、うまく流れていくところもあれば逆に混乱を起こす可能性のあるような感じを受ける。
- 自治連合会: 今までの議論を聞いてると、これなら何回やっても同じ事で、はっきりと、こうだ！とこれでいきますと、私たちがそれに合わせるように頑張っていってほしいと思う。
- 自治連合会: 思い切った提案を出してもらって、その趣旨に向かって議論をもち、行政もこんな事はこうしてきたと打ち出してもらわないと、前へ進まないと思う。
- 住民協議会: 住民協議会は規模も違えば構成員も違うしエリアも違う。そんな中で人、物、金だけではないがもう一度全体から見た中でどうしていくか。確かに労力もさっき言われたように100倍違えば人材がいないところも出てくる。そういう全ての形の中で整理していかないと一緒ににはできない。人、物、金を総合的な形で今後どうしていくかという議論をしていただきたい。
- 事務局: 公民館、連合自治会、住民協議会が効率的に地域課題を共有しながら解決していくかということで、市がどうしろというよりもどうするのが一番上手く地域で地域づくり出来るかというのを考えていきたい。地域の実情に合わせた形でやっていただきたいという考え方。
- 自治連合会: 43住民協議会があれば43の考え方があり、43に合わせるようにしてもらって一番よい。共通事項はたくさんあるので。
- 事務局: それぞれの地域で考えていただかないと、市がここはこれでというのは意味がない。
- 公民館: 自治会に入ってもらってことを続けないと自治会が成り立っていかないかなと思う。自治会の勧誘をもっと進めないともとの住民協議会が崩れていくことになる。だからその考え方で組織を作っていくかといけないと思う。
- 事務局: それは地域で決めてもらったらよいことだと思う。市が自治会でなければということはいえないと思う。
- 自治連合会: 自治会に100%加入してもらって毎年勧めていかねばならない。
- 自治連合会: 自治会の加入率は定期的に下がっている。
- 自治連合会: 次のステップがあるかなと思う。例えば一本化になった場合、住民協議会の名前が変わるかもしれない。その組織で何か事業する時に地域の方が寄ってきて、自治会入って

なくてもそこでPR出来るという方向性も考えられる。決してその方向性が悪いわけではない。行政の改革については、メリットもデメリットもあるのでその方向性もあるかと考える。いずれにしても今日のステップはこれでよしとして、なかなか今日、明日で出来るものでもない。私は自治会の加入率の問題もデメリットがメリットになるのではないかと期待している。

- 公民館：公民館はどうするのか。県内でも公民館長は市の課長級クラスの方がやっているのが事実。松阪市は考えてないのか。
- 事務局：現在松阪市内には45公民館があり、その内松阪公民館、嬉野公民館については非常勤職員として館長は配置し、その他の公民館長は特別職として週勤務は22.5時間という形で館長業務している。地域によっては様々で、松阪市の今現在は館長で他市の状況を見ながら、変更というところには至っていない。
- 事務局：公民館についてはステップ3のあたりで説明させていただいた住民協の事業と公民館の事業が重なっている事が大きい。従来公民館でやっていただいていた行事も住民協議会ができてそのまま移っていった場合、公民館という組織は今後どのように考えていくかしてくる。市民センター等で住民協議会と一緒にいて連合会の事務局をやりながら公民館が別にあることはどうかなど問題となり、市の職員で公民館長、公民館主事としてどのような形で役割を果たしていったらよいか議題に上がっているかと思う。
- 自治連合会：地域が困る事を自治会だけでも公民館だけでも出来ない。みんなで協力してやっついていかないと出来ない。住民協議会とうまくやっていくのが、これからは市民の為になるのだと思う。こういうステップをふんでいけば良い方向にいくのではと思う。
- 住民協議会：提案していただいた資料にもう一つ加えていただきたいのが時間軸。これがないと、いつまでも進まない。このままではまた同じ議論になると思う。
- 住民協議会：ここにいるメンバーは地域を代表する人達なので、たたき台をもとに進めていただければと思う。
- 一斉に：そうですね。そうしてください。
- 公民館：これを基にどうしていくか。それの方が大事だと思う。
- 自治連合会：今日のこのたたき台に、これからいかにしていくか出していて、細かい所はその都度出していただいて、皆さんに提案しご意見いただくのはどうか。
- 事務局：今日いただいた意見を参考に資料を作成し、代表者の方と相談しながら進めさせていただきたいと思う。  
10月中という事で日程の方調整させていただく。なるべく重ならないように調整させていただきたい。
- 自治連合会：それまでに資料が早めに出来たら打ち合わせしたいので、連絡を。
- 事務局：わかりました。資料ができ次第連絡させていただく。

(15:00 終了)